



こうのとり通信

2014
秋号
No.80

発行日：2014年10月10日 編集：広報委員会

会長就任にあたって ～社会福祉士会の発展に向けて～

会長 岡本和久



この度の役員改選にともない、兵庫県社会福祉士会の会長に就任することとなりました。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。会のさらなる発展に向けて、尽力してまいります。

1993年7月に設立された本会は、日本社会福祉士会の兵庫県支部であり、当時100名にも満たない、職能団体の1つとして出発しました。

会の設立時から会長の職を担われた岡田相談役は、地区ブロックの組織化を進めるとともに、法人化にも尽力されました。2009年には、一般社団法人兵庫県社会福祉士会として、新たに出発することとなりました。

そして、2010年から就任された土谷前会長は、東日本大震災への復興支援をはじめ、総合リハビリテーション研究大会、第20回近畿ブロック研究・研修兵庫大会を成功へと導かれるとともに、基礎研修の導入や生涯研修センターの設置など、会の発展と研修体制の充実に尽力されました。

この場をお借りして、岡田相談役ならびに、土谷前会長に改めて謝意を表します。

さて、ここ最近、私たち社会福祉士をめぐる状況を振り返ると、地域包括支援センターへの社会福祉士の配置、刑余者やホームレスなどの低所得者や社会的に孤立している方々に対する支援、教育現場におけるスクールソーシャルワーカーの配置がなされてきました。そして、来年度から始まる生活困窮者への支援など、社会福祉士及び社会福祉士会が果たす役割に対する個人や社会的な期待は、ここ数年でますます大きくなっていると感じています。

私は、社会福祉士会の魅力は素晴らしい仲間と出会い、相互に刺激しあい、高めあい、学び合う関係なのだと思います。これからの5年後、そして10年後、この会はどうなっているのでしょうか。一人ひとりが社会福祉士会に参加し、それぞれの夢を実現できるような会になっているのでしょうか。私は、みなさま一人ひとりのそれぞれの夢や希望が実現できることを目指して、また、本会の魅力を高め、会員の一層の加入促進と、発展計画の策定に取り組み、社会福祉士会の発展のために尽力し、今日一日の実践を積み重ねていきたいと思います。

会長という大役ですが、今年度新たに選ばれた理事・監事のみなさま、そして会員のみなさま、事務局のみなさまとともに、みなさまからの意見やご協力をいただきながら、これから進めてまいります。

阪神・淡路大震災からまもなく20年の節目を迎えます。この度の丹波市、福知山市、及び広島市の豪雨による被害で被災された方々にお見舞い申しあげるとともに、東日本大震災への復興支援に取り組んだ経験を生かし、災害支援プロジェクトチームを立ち上げ、積極的に支援を行っていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

第22回日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会（鹿児島大会）報告	2
メーリングリストとは	4
行事報告	6
委員会だより	7
ブロックインフォメーション	9
事務局情報	10

第22回日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会(鹿児島大会)報告

開催日:2014年7月5日~6日

開催場所:鹿児島県鹿児島市



会場の様子



久永実行委員長による開会宣言

1日目・シンポジウム報告

「変化する社会構造と社会福祉士～多様な福祉ニーズに応えるために～」

コーディネーター	古川 孝順 氏	西九州大学 教授
シンポジスト	黒岩 尚文 氏	共生ホームよかあんべ 代表
	久松 憲明 氏	ひさまつクリニック 院長
	芝田 淳 氏	リーガルレノヴァ司法書士事務所 司法書士
	久木元 司 氏	社会福祉法人常盤会 理事長

【シンポジウムのねらい】

少子高齢化の進行による人口構造や家族構造の変化、資本主義社会のグローバルによる経済格差の広がりが社会構造に大きな変化をもたらした。

人と人とのつながりが希薄になった社会において、社会とのつながりの薄い人々の人権をどのように守り、地域でどのように支えるのかについて、実践者や関連領域の専門職からの発題を受け、支援や連携のあり方について展望する。

【シンポジストからの発題】

黒 岩 氏：地域社会に根差した介護事業所としての取り組み

社会福祉士として地域社会や個人への関わりについて、現状と課題

久 松 氏：医療と福祉が連携し、患者さんの生活を支えること

現在の連携の様子、今後の目指すべき方向性

芝 田 氏：貧困等の課題を抱える社会的弱者への権利擁護のあり方や課題、司法と社会福祉の連携の在り方

久木元 氏：社会福祉法人として、地域に開かれた障害福祉サービスやひとりひとりを尊重するケアの提供、自立に向けた支援等への取り組みについて

【所感】

誰もが暮らしやすい社会を作るために、社会福祉士は地域社会の中でどのような役割を果たすことができるのか、また、そのための連携のあり方や、福祉の対象者一人ひとりにどのように関わることができるかという議論でした。

日本の社会福祉は社会構造の変化に伴い、救貧政策から地域において包括的に提供されるもの、地域社会の中で選択できるものに変化しています。また、社会福祉が担う領域は、多種多様・多角的なニーズに応えるために、他の施策と並列しながら相補性を持つ

必要があります。私たち社会福祉士は社会福祉の固有性を専門性として持ち、関連領域の専門職と連携し、他分野・多領域に横断的にアプローチできる専門職でなければなりません。そして、社会構造の変化により生じる様々な課題がコミュニティにはあります。コミュニティの課題に対して社会福祉士として地域住民にどうアプローチするのか、これまでサービスに対して受け身だった社会福祉の利用者を、共にサービスを作り出す利害関係者として協同し、いかにエンパワメントするのか、社会福祉士の専門性が問われていることを再確認しました。
(参考:第22回日本社会福祉士会全国大会 抄録集)



広報委員会で行ってきました



西郷隆盛像



白くま

懇親会報告



盛り上がる懇親会

全国大会の参加者の内、約400名が参加。開会の辞、乾杯、有志による「鹿児島紹介・おはら節」等が披露され、鹿児島の郷土料理等でおもてなしを受けました。次回開催県(石川県)による地元のお酒や銘菓等でのアピールもありました。

2日目・分科会報告

本年度の分科会は62本の申し込みのうち、30本が採択されました。

F分科会:変化する社会構造と実践研究3題目、『成長を促す「スーパーバイザー体験」のための具体的方法論の模索～主任介護支援専門員とのグループスーパービジョンを題材に～発表者:田中和彦氏(愛知)』では、主任介護支援専門員に対するグループスーパービジョンの方法論として、ケースに対する理解の深化の過程にスーパーバイザーがいかに働きかけるかが重要であるとの報告がなされました。スーパービジョンの方法論は発展の途上段階にあり今後も研究が進められるべき分野ではありますが、処遇方針の決定ではなくケース理解の深化に主眼を置いた、職場外スーパービジョンは私たちの日々の実践において示唆に富むものです。フロアからも参加者の関心の高さを反映して、活発な意見交換が行われました。

また、I分科会:海外研修等報告会2題目、『診療所を拠点としたアウトリーチによる野宿者支援の調査研修—ソウル無料診療所の社会福祉士の活動を中心に—発表者:榊原聡実氏(愛知)』では日本とも様々な面でのつながりの深い韓国で実践されているソーシャルワークの一端を知ることができました。野宿者支援としてのアウトリーチ実践は、生活困窮者自立支援法が施行される日本において生活困窮者支援を考えてゆく中で参考になるのではないかと思います。

分科会への参加で、日々の実践を研究としてアウトプットすることの重要性を感じると同時に、全国の仲間が生き活きと活躍している様子が伝わり、発表を聞く側も力づけられるものでした。



分科会の様子

「変化する社会構造と社会福祉士」

講師 鹿児島国際大学国際文化学部 准教授 ジェフリー・S・アイリッシュ

アメリカ・カリフォルニア生まれ。エール大学在学中に日本文化に興味を持ち、卒業後は清水建設に入社。しかし、順風満帆なエリートコースを捨て、鹿児島の小さな村で漁師になったそうです。今度は里山に住みたいと川辺町土喰(つちくれ)集落に住み、ムカデや蛇を友として生活した話には、会場が笑いの渦になりました。

集落の平均年齢は80才、高齢化率89%。いわゆる限界集落でしたが、住民は昔ながらの高い上り框・縁側のある家屋に住み、田畑を耕し、ほぼ自給自足の生活をしていました。ゆったりと時が流れる集落には古き良き日本の生活が残っており、お互いを気遣い支え合う心が息づいています。そこには人を幸せにする人類共通の価値観があるそうです。

最後に

今回の全国大会は、鹿児島県社会福祉士会のみなさんが1年前から企画・準備して下さい、7月5・6日の二日間、私たちを迎え入れてくれました。

あるスタッフは、私たちが初日の夕食の店を探していたところ、さりげなく声をかけてくれ、すぐにおすすめの店を教えてくださいました。しかし、土曜日なので予約が取れずにいると、数名のスタッフが次々と店を教えてください、とてもおいしい夕食をいただくことが出来ました。次の日に、私たちを見つけて、昨日は夕食にありつけたかどうか、声をかけてくれました。

これは一例ですが、様々な場面で、さりげなく声をかけて、困っていると分かるや否や、全力で解決に向けて取り組んでくださった鹿児島のスタッフのみなさんのホスピタリティには感心を通り越して感動すら覚えるものでした。

今回参加した兵庫県のメンバーも、それぞれ学びえるものがありました。二日間どうもありがとうございました。

メーリングリストとは

はじめに/メーリングリストの活用について

現在兵庫県社会福祉士会では、ひよこメーリングリストの運営をしています。登録すると便利なので、ご紹介させていただきます。

何ができるの？

登録者に対して一斉に同じ内容の文章を送信することができ、情報の共有が即座に行えます。また登録者は全員が発信者にもなることができ、発信者のトピックスについて登録者全員で双方向的なやりとりが可能になります。

事務局からも日本社会福祉士会や関係団体からの情報や兵庫県下の事業所から会員周知の依頼のあったイベント情報などをタイムリーに発信しています。

登録していない人やメールアドレスをお持ちでない方にはその情報は伝わらないので、注意が必要です。

注意点

メーリングリストのアドレスにメールを送ると、その内容はみなさんに読まれることになります。1度メールを送ると削除出来ません。従って秘密の根回しや、デートのお誘いなどは内容として不適切ですので、皆さま注意してください。

今後も皆様にとって有益なメーリングリストとなるよう努力を重ねていきますので、是非皆さま登録の申し込みをしていただきますようお願いいたします。

兵庫県社会福祉士会メーリングリスト登録のご案内

本会ではメーリングリスト(通称:ひよこML)を運営しています。配信内容は本会行事や各委員会・ブロックからの事業案内の他、各地域で開催のイベントや研修、行政、事業所からの求人情報、個々の会員からの耳より情報などです。「こうのとりの通信」では発信できないタイムリーな情報を皆様にお届けします。



〈登録方法〉

- ①兵庫県社会福祉士会のホームページ (<http://www.hacsw.or.jp>) にアクセスする。
- ②ページ右上の「兵庫県社会福祉士会メーリングリスト(ひよこメーリングリスト)への登録申し込みはこちらから」というリンクにアクセスする。
- ③必要事項を入力し、送信する。

以上の手順を踏んでいただき、当委員会で会員かどうかの確認の上で登録いたします。会員確認する都合上、即日登録できないことをご了承ください。



メーリングリストへの登録アドレスを変更する場合についてのお願い

ひよこMLへの登録アドレスを変更する場合についてのお願いです。

最近、ひよこMLへの登録アドレス数の増加に伴い、メールが届かないこと(エラー)が多く発生してきています。担当として、エラー対応に手間と時間がかかる状態となっています。

対応として、登録アドレスへの変更の連絡がない場合においても、メーリングリストの登録から削除することとします。

ひよこMLのメールが滞りなく届くよう、登録アドレスを変更したときは、必ず、アドレス変更の連絡・手続きをお願いします。また、携帯アドレス等において迷惑メール対応が設定されている可能性がありますのでご確認ください。

上記の説明で分からない点等ありましたら、syadanhyogo@hacsw.or.jpこちらに連絡ください。宜しくお願いします。

〈兵庫県社会福祉士会メーリングリスト〉

運営母体：兵庫県社会福祉士会 管理者：広報委員会 お問い合わせ・連絡先：syadanhyogo@hacsw.or.jp

社会福祉士実習指導者フォローアップ研修

開催日：2014年6月22日 実施場所：兵庫県福祉センター
参加人数：39名 主催：実習教育支援委員会

県内外多数の参加者が集まりました。午前中は武田建先生をお招きして「実習スーパービジョンの実際」という題目でご講演をして頂きました。午後からは「実習ノートを活用したスーパービジョン」と「評価面接を活用したスーパービジョン」を演習形式で学んでいただき、実習指導者の即戦力アップを図りました。



2014年度 第2回施設見学会

開催日：2014年8月2日 実施場所：岡山県 長島愛生園
参加人数：29名 主催：研修委員会

ハンセン病療養所の施設見学は2005年につづき2回目となりました。補助席まで満席のマイクロバスは、瀬戸内の海風を感じながら、離島と本土を結ぶ「人間回復の橋」を渡り、世界文化遺産への登録をめざす長島愛生園へ。

歴史館(旧事務館)では、当時の生活記録、神谷医師の特別展示、住人による語り部映像に胸をうたれました。また、フィールドワークでは隔絶の島の入り口である栈橋、クレゾール消毒をする浴室、懲罰的に隔離する監房跡を目の当たりにしながら、学芸員の方から1930年当時から今につづく現実を教えてくださいました。

帰路には、恒例のオプションツアーとして、岡山名産の桃狩りも楽しみ、会員同士の交流を図りました。



相談委員会 (委員長 中村 栄子)

毎月第2土曜日午後1時から4時まで、社会福祉センター5階の社会福祉士会事務所にて無料「福祉なんでも相談」を行っています。2名の委員会メンバーが来所の方や電話の対応を行っています。相談者の相談内容を傾聴し、ともに寄り添い、相談者自身が解決の糸口を見つけられるよう活動しています。会員同士の交流やスキルアップもしています。

7月21日のソーシャルワーカーデーでは神戸サンポルタ広場にて、相談ブースを設け活動しました。

10月、11月、12月は、各ブロックで行われる「介護の日」に合わせたイベントや地域の祭りにも「相談ブース」を設けて活動します。

委員会予定 2月14日(土)、3月14日(土)
各 日 程 14時30分～ 兵庫県福祉センター5階



地域移行支援委員会 (委員長 國本 康夫)

精神障害者等退院支援チームにおける退院支援に関するノウハウを継承し、2ヶ月に1回、病院、障害者地域生活支援センター、行政、相談委員会等の方々に集まっていただき、神戸市・伊丹市・尼崎市等の退院支援員や地域移行推進員への支援会議(委員会)を開催します。また、今年も11月頃に拡大学習会を開催し、広く参加者を募り学習活動を推進していきます。地域移行に関心のある方は、事務局にお問い合わせ下さい。

委員会予定 11月27日(木)、1月22日(木)、3月26日(木)
各 日 程 19時00分～ 兵庫県福祉センター

実習教育支援委員会 (委員長 乾 なち子)

社会福祉士実習のあり方を検討するとともに、社会福祉士実習指導者養成講習会を開催することを目的に組織された委員会です。委員会のメンバーは社会福祉士の大学実習担当教員及び施設・機関の実習指導者10名程度で、2ヶ月に1回程度会議を開催しています。9月20日に実習フォーラムⅣを開催し、養成校と実習現場の連携について話し合いをしました。また、12月13日(土)～14日に実習指導者講習会を開催するとともに、「大学との連携事業」では、大学の教室等に出向いて、ゼミや講義で学生さんたちと触れあいながら、生の社会福祉士像をお伝えし、実習に臨むポイントなどをお話していく取り組みを進めます。

委員会予定 10月16日(木)、11月20日(木)、1月15日(木)
各 日 程 19時00分～ 兵庫県福祉センター

委員会責任者名

研修委員会	中原 克子	地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治
調査研究委員会	井土 陸雄	こども家庭支援委員会	田辺 哲雄
国家試験対策委員会	薄木 公平	実習教育支援委員会	乾 なち子
広報委員会	山下 雅夫	独立型社会福祉士支援委員会	石原知佳子
相談委員会	中村 栄子	障がい福祉委員会	長瀬 俊明
ケアマネジメント委員会	酒井 淳子	更生支援委員会	原田 和明
高齢者虐待対応委員会	伊東 圭一	地域移行支援委員会	國本 康夫
ばあとなあ兵庫	伊藤 彰		

会員の皆様が、委員会活動についてご質問、問い合わせなどされる場合は、
本会ホームページの問い合わせメールにてお願いします。

<http://www.hacsw.or.jp/index.php/whatshacsw/contactfor/>

広告

福祉と行政のプロフェッショナル

うすき 行政書士 事務所

(うすき社会福祉士事務所 併設)

4つの約束

- 1 法律と福祉の両方が分かる専門職として
身近な悩みにもお応えし、お客様をサポートします。
- 2 煩雑な書類作成、申請業務を全て承ります。お客様は、
本来業務や新しい業務の準備に集中できます。
- 3 電話やメール相談だけでなく、お客様のご連絡があれば
すぐに駆けつけます。
- 4 お客様との信頼関係を大事にします。

ご相談はこちらまで。
どこでも私が駆けつけます！



いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 事業所の新規指定申請、更新申請の予定がある。 | <input type="checkbox"/> 新しく会社やNPOを興したいと考えている。 |
| <input type="checkbox"/> 認定NPO等の準備を考えている。 | <input type="checkbox"/> 介護タクシーなど新規事業を始めたい。 |
| <input type="checkbox"/> 遺言書や相続に関する問い合わせを受けた。 | <input type="checkbox"/> 成年後見を活用したほうがいい方がいる。 |
| <input type="checkbox"/> クーリングオフなど消費者問題の人がいる。 | <input type="checkbox"/> 訪問介護事業所等の駐車許可を取得したい。 |

〈業務内容のご紹介〉

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ・株式会社、NPO法人など設立手続き | ・介護サービス事業所の手続き支援 |
| ・障害福祉サービス事業の手続き | ・社団法人、公益社団法人等の新規・移行手続き |
| ・介護タクシーの許可取得 | ・遺言書、遺産分割協議書作成 |
| ・相続対応や成年後見制度の活用など | ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成 |
| ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係 | ・その他、契約書や覚書作成の実務関係業務 など |
- (司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

TEL: 0798-34-3999
MP: 090-9264-7594

E-mail: sp8c6h89@aurora.ocn.ne.jp

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口・松村事務所 併設)
兵庫県西宮市本町7番15号
(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)
兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)

神戸ブロック (ブロック長 増山 陽子)

秋の夜長、みなさまいかがお過ごしでしょうか？今年の夏はあちらこちらで雨の被害ありましたが、抗うことのできない自然災害は、今や誰もが遭遇しうることであり、今こそ「ともに」という人と人の結びつきが求められるように思います。

さて神戸ブロックのこれからの下半期は下記の通り、毎月研修会、交流会、研修会など予定しております。是非いずれかの日に参加し会員同士の交流を深め、ネットワークをひろげましょう。

1月以降については新年号で改めて案内しますが、来年4月からの介護保険改正に合わせ説明会もあります。今から予定表に加えておいてください。

《今後の予定》

- 11月1日(土) まちかど相談会 於：神戸駅北側地下「サンポルタ広場」
地域包括委員会との交流会
- 12月13日(土) 研修会 ソーシャルワーク3回目
- 1月24日(土) 新年会 「富(ふう)」
- 1月27日(火) 施設見学会
母子生活支援施設 「ライオンズファミリーホーム」
- 2月11日(水) 司法書士会との交流会
- 3月14日(土) 研修会「改正介護保険制度について」
講師 神戸市介護保険課 上田課長

*研修会、交流会参加申し込みは別紙に記入の上ファックスで

《募 集》

11月1日の「まちかど相談会」のスタッフを募集します。9:00~16:00ですが、午前のみ午後のみでも結構です。

7月のソーシャルワーカーデーでは19名の相談を受けましたし、また「去年もありましたね」「去年も頂きました」という言葉がかえってくるなど、本事業も街中で定着しつつあります。

お手伝いいただける方は、下記のメールアドレスか電話でご連絡ください。

*神戸ブロックのメーリングリストに登録ください

タイムリーな情報もお届けします。

アドレス：tonica2939@hi-net.zaq.ne.jp お待ちしています

問い合わせ先： 090-8531-5414 (増山)

ブロックインフォメーション

阪神ブロック (ブロック長 尾崎 剛志)

阪神ブロックでは、ブロック会員400名以上を擁する大きなブロックです。2ヶ月に1回役員会を開催するとともに、各部会活動を展開しています。

平成26年度も地域部会の活動を中心に、会員の交流や学習の場づくりを推進していきます。

9月12日に初任者勉強会「成年後見について」につづき、10月17日(金)に定例学習会では、生活困窮者支援をテーマに、岡山県で、法律・福祉・不動産仲介の専門家が中心となり、設立されたNPO法人「おかやま入居支援センター」の取り組みについてお聞きします。また、12月7日(日)の午前・午後に西宮市総合福祉センターの「輪い和いひろば」イベントにて、まちかど相談会を開催します。相談会でピラやメモ帳の配布のお手伝いいただける方を募集しますので、ご協力いただける方は阪神ブロック西宮事務局まで、メール (yasuo-k@hcc1.bai.ne.jp) またはFAX (0798-36-1079) までお願いします。

さらに、尼崎部会、川西・猪名川部会は定期的に交流会を、芦屋・西宮部会、伊丹・宝塚・三田部会も今後、研修会や施設見学会等を予定しています。ぜひ、阪神ブロックの部会活動にもご参加ください。

最後に、阪神ブロックの方は、ぜひ、阪神ブロックメーリングリスト管理者までメール送信し、アドレス登録をお願いいたします。

・登録希望・問い合わせ受付アドレス (担当：山下) oyogetaiyakikun@gmail.com

事 務 局 情 報

【お知らせ】

☆ 第22回近畿ブロック研究・研修大会《滋賀大会》開催について

近畿ブロック研究・研修大会は、近畿ブロックを構成する滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫の各社会福祉士会が毎年持ち回りで開催している研修会です。

本年度は滋賀県社会福祉士会が担当となっています。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

なお、開催要項は、今回のこのとり通信に同封しましたのでご確認下さい。大会内容等については、滋賀県社会福祉士会HP (<http://www.eonet.ne.jp/~shiga2944/>)にて随時お知らせします。

第22回近畿ブロック研究・研修大会《滋賀大会》

◆大会テーマ

誰もが光り輝く社会を目指す社会福祉士!

～もっと知りたい、伝えたい

社会福祉士の活動、そして笑顔～

◆開催日：2015年1月31日(土)～2月1日(日)

◆会 場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター
〒520-0801

滋賀県大津市におの浜1丁目1番20号

TEL：077-527-3315

FAX：077-527-3319

◆参加定員数 300名

◆日程・内容

【1日目】 1月31日(土)

◎シンポジウム

『社会福祉士の変わらぬ立ち位置とは』

様々な分野で社会福祉士に期待されることが多くなってきた、どこに所属していても社会福祉士として変わらぬ基本的な立ち位置を確認する。

○シンポジスト

- ・特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センター 常務理事兼センター長 城 貴志 氏
- ・野洲市市民部市民生活相談課 主任(生活困窮者支援担当) 宇都宮 誠実 氏
- ・特定非営利活動法人 甲賀・湖南成年後見センターばんじー 所長 桐高 とよみ 氏

○コーディネーター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 地域福祉部長
谷口 郁美 氏

◎分科会(会員実践報告)

相談援助・福祉経営担当：京都社会福祉士会
権利擁護・生活構造担当：奈良県社会福祉士会
地域支援・実践研究担当：和歌山県社会福祉士会
※発表者等の詳細は、1月以降、滋賀県社会福祉士会HPにて掲載します。

【2日目】 2月1日(日)

◎分科会(各支部自由企画)

○大阪社会福祉士会

「リーガルソーシャルワークについて」

○兵庫県社会福祉士会

「いま始まる生活困窮者支援とソーシャルワーク」

講師：花園大学 社会福祉学部 教授 吉永 純氏

○滋賀県社会福祉士会

「障がいがある人の就労支援～働くこと・地域で暮らすことから学ぶ～」

コーディネーター：社会福祉法人グロー ホーム支援室 兼 滋賀県立信楽学園 松井 邦夫 氏

※分科会内容の詳細は、1月以降、滋賀県社会福祉士会HPにて掲載します。

◎記念講演

『医療と福祉が共に歩むということ、滋賀の障害者福祉の実践をとおして語る』

滋賀医科大学名誉教授 島田 司巳 氏

☆ 会 員 数

正会員 1430名 (2014年7月末現在)

周りの未入会の方に入会をお誘いください。

職場を異動、または転居された場合は、住所変更届を必ず日本社会福祉士会へ提出して下さい。住所変更届等様式は、日本社会福祉士会のホームページでダウンロードできます。このとり通信は、ヤマト運輸にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、ご注意ください。

☆ 年会費引き落としについて

新会員の年会費引き落としについては、日本社会福祉士会からの初回発送物の中に「会費引き落とし日程」のお知らせが入っていますので、ご確認ください。

☆ 理事会報告

2014年度 第4回理事会

日 時：2014年7月19日(土)

場 所：兵庫県福祉センター2階会議室

協議事項及び報告事項

- ・2014年度補正予算について
- ・兵庫県福祉・介護啓発事業委託契約について(「まちかど無料相談会」実施について)
- ・生活困窮者支援委員会(仮称)の立ち上げについて
- ・西はりまブロック、関西福祉大学との交流事業について
- ・ブロック長会議の開催について
- ・神戸市の生活困窮者支援事業の取り組みについて
- ・各委員会活動報告
- ・各地区ブロック報告

2014年度 第5回理事会

日 時：2014年8月23日(土)

場 所：兵庫県福祉センター1階会議室

協議事項及び報告事項

- ・役員体制について
- ・事務局体制、年間スケジュールについて
- ・選挙制度見直し(定款変更)と組織規定の整備について
- ・担当理事制について
- ・綱紀委員会の設置について
- ・丹波地区集中豪雨被害に対する支援について
- ・生活困窮者支援委員会(仮称)立ち上げ準備について

- ・「まちかど無料相談会」実施について
- ・優秀学生の会長表彰（副賞）について
- ・第63回兵庫県社会福祉大会の出席について
- ・外部事業所等からの求人情報の紙面での取り扱いについて
- ・ソーシャルワーカーデーの実施報告
- ・近畿ブロック代表者会議について

☆ 事務局に届いた刊行物のご紹介

事務局に届いた刊行物を閲覧できるようにしましたのでご活用ください。

- * (公社)大阪社会福祉士会
 - ・調査研究誌「大阪社会福祉士」第20号
 - ・なにわだより No.194～No.197
- * (公社)東京社会福祉士会
 - 東京社会福祉士会ニュースvol. 212～vol. 214
- * (一社)岡山県社会福祉士会
 - ・総会議案資料集
 - ・岡山県社会福祉士会だより6月号・7月号・8月号
- * (社団)栃木県社会福祉士会
 - 栃木県社会福祉士会20年史
- * (公社)北海道社会福祉士会
 - 北海道かわら版6月号
- * (一社)静岡県社会福祉士会
 - 静岡県社会福祉士会 No.238～No.241
- * (社福)きょうされん
 - 月刊きょうされんTOMO6月号・7月号・8月号
- * 兵庫県立まちづくり研究所
 - アシステック通信71号
- * 兵庫県特別支援教育振興会
 - 兵特振会報 第67号&入会リーフレット
- * (社福)兵庫県社会福祉協議会
 - ・ひょうごの福祉6月号・7月号・8月号
 - ・若年性認知症の方が使える社会保険ガイドブック
 - ・人が育ち・組織が輝く“職場研修Q&A”
 - ・25年度事業報告決算書
 - ・26年度 社会福祉研修概要

☆ 事務局より～広報誌「兵庫県社会福祉士会 vol3」の発送について

当会では、2013年度より年2回、広報誌「兵庫県社会福祉士会」を広報委員会の協力により発行しています。通

常は、当会のことを知ってもらうため、関係機関を通じて一般市民・県民に配布しているものです。この度は、会としての広報活動を会員の皆様にも知っていただく機会として、会報と同送しました。広報誌に関する問い合わせは、事務局までお願いします。また、地域の催しなどでこの広報誌を配布できる方は事務局までお声がけ下さい。

☆ 今後の予定

2014年度 第6回理事会

日 時：2014年9月20日(土)

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。

事務局連絡先

【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5階

TEL 078-265-1330 FAX 078-265-1340

【事務局員】

事務局長 西野 佳名子

事務局次長 黒瀬 吉史

事務局員 中村 智穂美

事務局員 北野 和香子

事務局員 笹岡 久美

事務局員 萩原 美千紘

【事務局メールアドレス】

syadanhyogo@hacsw.or.jp

【ぱあとなあメールアドレス】

TEL：078-222-8107(月・火・木対応)

partner-jimu@hacsw.or.jp